

# 鉄蓋製造現場を視察

## ダクタイル異形管工業会 日之出水道佐賀工場で

日本ダクタイル異形管工業会(村瀬充会長)はこのほど、佐賀市の日之

粉体摩耗試験機を見学



出水道機器佐賀工場で平成30年度研修会を開き、最新設備による鉄蓋製造工程を視察した。

概要を紹介した同社の江藤勲担当執行役員佐賀工場長によると、同工場では職場ごとに安全衛生委員会を設け、社員一人ひとりが委員として役割を持って3Sに取り組ん

でいるという。こうした取組みが評価され、昨年10月には佐賀県産業安全衛生大会で佐賀労働局から「安全衛生に係る佐賀労働局長表彰(奨励賞)」が授与された。この表彰は、地域の中で安全衛生に関する水準が良好で、改善のための取組みが他の模範と認められる事業所等に贈られるもの。

製品の工程管理は、製品情報シートと検査結果記録表で実施している。一つの工程を終えるたびにシートのバーコードをスキャンすることで、工場のみならず本社でも状況を把握できるという。

工場敷地内にある技術開発の拠点「R&D総合センター」では、革新的な製品の企画開発、産官学との幅広い技術交流と

共同開発が行われている。参加者はコンピューターによる数値解析で最適な形状が計算される模様などを視察した。

視察後の意見交換では、「ライン管理や集塵対策が行き届いていることに感銘を受けた」などの感想が挙がった。



研修会に合わせて同日、年度上期の報告会も開かれた。広報委員会からは、3年連続で開催している配管講習会が好評を博していること、HPのアクセス数が増加傾向にあることなどが報告された。技術委員会は、品質標準化活動の推進、各規格の制定・改正に伴う対応などについて報告した。今年3月には次回の研修会を開催する予定。